

# サトイモで地域おこし

サトイモで地域を元気に。JA県厚生連看護支援室の看護師、中西京子さん(54)が、サトイモの成分を抽出したエキスを商品化。地域おこしの一環として、菓子店や料理店などと、サトイモを活用した商品開発を進めている。水戸市姫子では、周辺の4店舗が賛同。各店のオリジナル商品を完成させ、18日に一斉発売する。

## 看護師・中西さん発案

サトイモは、脳細胞「つた」と話す。を活性化し、老化や認知症を防ぐ効果がある。「脳響水」と名付けられるガラクタン。国産サトイモを原料などの成分を含む。看料とし、料理に加えて、看護師の採用活動などの活用する。5月には、日常業務の傍ら、健康笠間市の洋菓子店「グ増進」や食について研究「リュイエル」で脳響水が続いている中西京子さんをブルーベリーや桃など。「健康増進効果が期待され脳に効くと知り、興味があった。発売。評判は上々だ。サトイモに光を当てたか西さんは「脳響水で地

## 水戸で エキス使い菓子や料理 18日発売

域を活性化したい」と力を込める。

中西さんの活動に、水戸市姫子周辺の▽和菓子店「五條」▽洋食店「カルナバーレ」▽パン店「カスタード」▽そば店「高倉屋」の4店が賛同。各店が脳響水を使ったどら焼きやプリン、ピザ、パン、そばを考案した。

「五條」の宮脇庄旨さんは「和菓子にサトイモを使う商品はなかったのでは」と期待する。おもしろいと思った。高倉屋さんは「長く商売をやっていると商品を変えづらいが、新たな取り組みも必要。こ



脳響水を使った新商品を18日に一斉発売する各店の代表者ら。左から3人目が中西京子さん＝水戸市河和田

(平野有紀)